

## 審議会等の会議結果報告書

【担当課】 文化財課

会議の名称	令和4年度 第1回茅野市博物館協議会		
開催日時	令和4年6月17日（金）午前10時00分～午前11時30分		
開催場所	八ヶ岳総合博物館 整理工作室		
出席者	河村洋委員長、白鳥保美副委員長、小林俊男委員、市川純章委員、武居三男委員、両角紀子委員、松本光夫委員、田中正行委員、大勝弘子委員、村松秀子委員、田中克明委員、 山田利幸教育長、北沢政英生涯学習部長、五味健志文化財課長、山科哲尖石縄文考古館考古館係長、両角徹生八ヶ岳総合博物館長、正木美香同博物館係長、柳川英司同守矢史料館担当、		
欠席者	野口幸子委員、五十嵐みどり委員、鶴飼幸雄神長官守矢史料館長		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
生涯学習部長	<p>1 開会 日頃から、委員の皆様におかれましては、市の教育行政にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。また早朝からお集まりいただきまして誠にありがとうございます。それではただいまから令和4年度第1回茅野市博物館協議会を開会いたしますので、どうぞよろしくお願いたします。</p>		
教育長	<p>2 委員の任命 教育長から新任の各委員へ委嘱書を交付</p> <p>3 教育長あいさつ 新たに委員になられた小林さん、両角さん、そして松本さん。どうぞよろしくお願いたします。今日は第1回目の博物館協議会になりますが、三つの館の館長とも、今年こそはと希望と決意に燃えています。コロナの方も、ひと収まりしてきた様子で、コロナを必ず乗り越えていこうということですが、さて、今朝の信濃毎日新聞ご覧になったでしょうか。うれしい記事が載っておりました。これは、尖石縄文考古館のことになりますが、市民ガイドの皆さんを養成して参りました。市民ガイド第1号の方々がいよいよデビューされました。女性ガイドさんは、この日のために説明のメモを数日かけて作り、何度も何度も、それを読み返しては調べ、練習したとのことでした。その練習をしているところを想像したら、私までドキドキしてきました。自分の説明のために何日もかけて調べて読み返して見ること、これこそが「学び」なんだろうと思いました。先ほど館長から話を伺ったところ、4月にさくらツアーがあって、その中で同じように市民研究員</p>		

が説明してくださり、コロナ渦ですが新しい方向が出てきたということでした。8月27日（注：9月18日に延期）には、3期の23名の方に修了証書をお渡しし、講演会を予定していますのでどうかよろしくお願ひいたします。

昨年度最後の会は、コロナのために、開催を中止しました。その中で、河村先生をはじめ、皆様方からご意見を寄せていただいたのでご紹介したいと思ひます。

『全体として、コロナ禍においてもいろいろ対策や工夫をしながら各館で活動を継続していることが、高く評価されます。嬉しいけれども、もっと頑張れと受け止めていきたい、そんな風に思ひます。それから子ども向けの講座工作のテーマ、各方面について多数用意されていて、充実していると思ひます。他方最近の傾向を取り入れるために、情報系のテーマがもう少しあっても良いのではないかと思ひます。』ということです。『子ども向けの教材を開発されていますし、実施については、理科大生に協力を申し入れることも考えられます。星を見る会、或いは子ども科学工作クラブ、ワクワク科学教室など、本当に子どもたちのために、いくつかの講座、市民研究員の方々のお力によって企画されました。』『学校教育の方でも、子どもたちに多様な学びの場を作っていこうとがんばっていますが、これに加えて学びの場は学校だけではなくて、今、茅野市の持っている三つの博物館の様々な講座を充実させて、子ども向けに行っていく。総合博物館も、公民館も頑張っている。そんな力をさらに太らせていきたい。』ということです。ぜひまた皆様のご意見をお伺いしながら、続けていきたいと思ひおります。三つの館ともに地道な活動を継続されていて、よく頑張っておられると感服しております。ありがとうございます。そして最後に、私たちの弱いところなのですが、『様々なツールで発信していただけるとありがたいと思ひます。』これは、私たち自身への発信でもあるし、市民の皆さんへの発信になります。出していただいた感想を簡潔に発表いたしました。ぜひまたよろしくお願ひいたします。

コロナになって、ちょうど2年が終わろうとしています。この間で、私自身、強く感じたことが二つあります。一つは、コロナ禍だからこそ、文化芸術活動を充実させなければならない。嫌な言い方すると博物館の活動をいくらやってもお金にはなりません。しかし、人を一番幸福にするのが博物館の活動である。だから、市でやる、公でやる、私たちその辺のところを誇りをもって進めてまいりたいと思ひます。それから他の博物館とやはり違うのは、茅野市の博物館は市民の皆さんの学びとイコールになっている、そういう博物館になると思ひます。この前市長とも話しをする中で、市民の皆様が学んでいくとはどういうことかということ、ゆっくりもう一度時間をかけて考え直していこうじゃないか、そんな話になっております。どうか、1年間、意見を出していただき、一緒に考え、より充実した博物館活動を作ってまいりたいと思ひますので、どうかよろしくお願ひいたします。

4 委員及び職員のご自己紹介（委員のみ）

5 茅野市博物館協議会設置条例について

	<p>協議に先立ち、茅野市博物館協議会設置条例について事務局から説明。</p> <p>6 協議事項</p> <p>(1) 正副委員長の互選について 委員長に河村洋委員、副委員長に白鳥保美委員が選ばれた。</p> <p>(2) 審議会等の会議の公開について 協議に先立ち、協議会の公開について事務局から説明。 ～資料1、資料2の説明～ 本日の会議の公開、議事録の公開について説明及び確認を行い、非公開基準に該当する項目はないため、当会議を公開とします。議事録に関しては、委員名を表示せずにホームページで公開します。 (承認)</p> <p>(3) 各館令和4年度事業計画について 資料に基づき、年間事業計画について事務局から説明を行う。 ・尖石縄文考古館（考古館係長）</p>
委員長	特別史跡指定70周年ということですが、特別史跡というのは、全国的にどれくらいすごいのですか。
考古館係長	なかなかそのすごさをお伝えするのができないのですが、私も展示解説する時に、他にこんな特別史跡がありますとご紹介するのですが、例えば姫路城であるとか、金閣寺であるとか、銀閣とかそういったものが全国に63ヶ所ございまして非常に数も限られています。国宝が1130ほどありますので、これに比べて非常に厳選されている、貴重なものだということをもう少ししっかり伝えていきたいということでございます。
委員長	平均して各都道府県にあるというようですが、集中しているところもあるでしょうから、ないところもあるのでしょうか。
考古館係長	はい。ないところもあります。
委員長	最初に、教育長からご紹介があった市民ガイドは今回2年目なのですか。応募が15人というのは、去年なのですか。今年なのですか。
考古館係長	昨年度募集をして、2年間でひとまず修了ということで考えていますので、今年度は新たな受講生は募集していません。
委員長	2年間の研修で本格的にやっておられるのだと思います。
考古館係長	そうです。学芸員の代わりに解説できるようにということです。
委員長	博物館でもさくらツアーをされたようですが、市民のレベルアップにもつながっているようですね。
委員	縄文学習について、コロナになって非常に活動しづらいと思うが、どの程度でどんな学習をしたか教えてほしい。
考古館係長	今年度は、今、学校も、どういう形でやるかということを検討しているところだと思うのですが、先ほど説明いたしました通り、縄文検定に関しましては3校希望が来ています。昨年度につきましては、検定は玉川小学校1校でした。それ以外に、土器づくりの希望が去年は中学校が1校と、小学校が2校でした。我々も、学校からすれば外から来る立場になりますので、コ

教育長	<p>コロナ渦の中でちょっと難しいというところがあったようでして、令和元年度以前に比べますと、かなり数は減っているという状況です。</p>
委員	<p>考古館の職員の皆さんを呼んでとか、職員が出かけるのは確かに少なくなっています。縄文学習も同じで、例年12月に市役所でやった発表会がコロナで集まれないということで、3月にビーナチャンネルを使って発表しています。それからもう一つは、人は集まらないけれども市民館の関係で縄文アート展。子どもの作った土偶の展示会を行いました。コロナ渦で外には出ないという制約があります。一番は、子ども達同士がお互いで何をやっているか、見合うとか交流するとか、確かに弱いなと思っています。</p>
考古館係長	<p>公園の管理で、昨年度犬の散歩のことが問題になっていましたが、市民の皆さんにチラシやホームページで伝えているのか。今年はどうな様子なのですか。</p>
委員	<p>犬につきましてはリードを外してしまうということで、その点についてご指摘いただいています。史跡公園内に「犬にリードをつけて」と、大きく掲示をしていますが、ホームページや広報ちの等を使ってお願いすることは今までしていませんので、取り入れていきたいと思います。あともう一つ、昨年の秋頃、大きなラジコンを飛ばしている方がいました。ラジコン飛ばす方も最初始めた時は朝早かったもので、他にお客様いなかったようだけれども、その後、時間が経っても飛ばしている中で、お子さん連れのご家族がやってきて、お子さんの近くを飛んでいく状況がありましたよというような報告も受けています。そういったところも含め、公園の利用についての、お願いを表明していく必要を感じているところです。</p>
委員	<p>団体の受入れとかはないのですか？</p>
考古館係長	<p>団体の受け入れはしています。もちろん学校もありますし、ツアーもありますが、考古館は展示室が小分けになっていて、密になりがちな状況ですので、学校につきましてはできれば30名以下、もしくは1クラスで入るようにお願いしています。複数のクラスがある学校は入れ替えで、外の見学と館内の見学に分かれていただくということでお願いしています。ツアーの方は気を使っただいて構成を20名にさせていただいているので、それは問題なく入っていただいているという状況です。</p>
委員長	<p>先ほど小学校との交流の話で気が付いたのですが、見学には市のバスを使えないのですか。</p>
考古館係長	<p>市のバスがございまして、それを学校で空いているかどうか、予約をさせていただくようになっています。</p>
委員長	<p>私が大学にいたときに、学生に考古館などに見学に行きなさいというと、学生は行けないと言うんです。この地域では移動が大変なので、そういうことをしっかりサポートしていただければありがたいです。</p>
委員長	<p>・八ヶ岳総合博物館（博物館館長）</p>
委員長	<p>先ほど車を止める時に駐車場の白線がきれいになっていてよかったと思います。</p>
委員	<p>玉川小学校の話です。先日坂本養川の学習で、4年生が利用させていただきました。子どもたちも大変喜んだと同時に、職員が学びを深めておりま</p>

	<p>した。事前にこちらに来て学ぶという姿もあり、一緒に学んでいく、その手助けをしてくださることに大変感謝しております。一つ質問ですが、今日の新聞に汐のマップができたと載っていましたが、それが、学校には配られていないですね。博物館にあるのですか。</p>
史料館担当	<p>今朝の新聞の件は、多分この博物館が作ったものではないと思います。ただ、数年前に作ったマップがございまして、それは今まで来館された学校には無料で配布しております。</p>
教育長	<p>諏訪市の先生に昨年度作っていただきました。原村富士見を含めたこの辺り帯の坂本養川の汐について、今までとは違った視点をお持ちで、富士見や原村もかなり子どもたちが学習し出したところです。そこからまた新たな学習、茅野市の坂本養川だけでないところの広がりがあります。</p>
委員長	<p>いろいろな行事が計画されていて、やむなくコロナで中止にされていますが、なにか中止の基準があるのですか。</p>
博物館館長	<p>新型コロナ警戒レベルを基準にしています。去年の段階では、レベル5では活動は中止としました。市民研究の皆さんにも、申し訳ないけれども、活動をやめてくださいという話をさせていただきました。今年度、令和4年になってからも、まだ警戒レベル5だったので、レベル5の場合には、時間は90分の中でやってください。そして換気を途中で入れ、45分やったら、換気をして45分やって終了してくださいという話をさせてもらっています。その他にも、机の真ん中にアクリル板を置いて、接触がないようにしてください、帰るときには使用物全てを消毒してから帰ってください、ということをお願いしました。レベルが3になり、90分の時間を撤廃させていただきました。ただし感染予防のマナーを守っていただき、換気しながらをお願いしました。最近レベル2になりましたので、黙食、或いはお話しがあったら、1メートルか2メートル空けて、の食事をお願いしています。</p>
委員長	<p>いろいろご苦労あると思いますが、市の担当課に相談していただき、わかりやすい基準があればご苦労が少ないし、市民としてもわかりやすいです。</p>
生涯学習部長	<p>市の方から、全体的な感染対策ということでお話させていただきますと、やはり県の警戒感染レベルが基準になっております。それに応じて、博物館という教育施設だけではなく、市の公共施設も、どういう基準で開けたり閉めたり、また制限していることを、市の本部会議で決めています。状況が違いますので、例えばスポーツ施設は屋外であるとか、屋内で密になるということも、一緒にスポーツ施設という括りになってしまうので、なかなか基準が難しいです。いろんなところを参考にしながら、レベル5とか、感染状況が蔓延しているので、開けてはいけないよねという雰囲気の中でも、館長さんおっしゃるような工夫をして、できるだけ接触がないようにしています。その基準というのは本部会議で決めますが、館独自・施設独自の基準は、ある程度その情報を集めて、例えば、長野県内の博物館はこうなっていると類似施設も勘案しながら、基準を決めています。基準があつてないようなものになっているのですが、極力、皆さんにご利用いただけるような姿勢で、運営してきた状況です。</p> <p>・ 神長官守矢史料館（史料館担当）</p>

委員長	非常にたくさんの来館者があったので良かったと思います。里引きの後の方が多かったですか？前宮から歩いている方がいらっしゃるのでしょうか。
史料館担当 委員長	そうですね。平日に行くとかかなりたくさんの方がいます。八ヶ岳総合博物館と共催というのは、博物館の古文書を使ってやっておられるのですか。
史料館担当	もともと講師が守矢史料館長だったということと、守矢史料館にある資料を使用するということがあったため共催になっているのだと思います。最近はこの館の資料がほとんどで、解説講座をしております。
委員	新聞とか情報では歩くコースを作られたそうですが、藤森先生の建物も含めて、史料館は必ず通るとかはありますか。
史料館担当	藤森建築については、それだけを見に来る人が、その道とは関係なくたくさんおられます。その人たちが、藤森建築がどこにあるかを史料館にかなり聞いてきますので、周辺にある藤森建築の案内はしております。
委員	歴史の街道ができたのですね。
史料館担当	鎌倉道ですね。
委員	あの中のコースの中の重要な点になっていると思うのですが。
史料館担当	ビジターセンターみたいなものが前宮のところにあってですね、そこはちゃんと地図上には記されております。歩いているといやが応でも目に入るところにあります。
副委員長	私、たまたま宮川小で校長やらさせていただきましたが、その学校の子どもたちに、鎌倉街道を、土日だったと思いますが、歩かせてもらいました。地元の子どもたちに、あそこを教えるというか、すべての人とは言えないけど、土日数回だって開放してやって、あの場所にこれだけすばらしい施設があるのだと。教えることは大事なことだと思うのですが、何か働きかけをしていただければとおもいます。一緒に歩くってことも、大事にしてもらおうとありがたい。
史料館担当	昔は一般向けに周辺の文化財を歩くということを年1回ほどやっていたのですが、最近はその中止しております。それも再開したり、学校からの要望があれば、それは受けたりしていきたいとおもいます。周辺をぐるっと回ってきて守矢史料館で説明をして欲しいということで対応したことはかつてあります。こちらからもこういうことができますよということで、働きかけはしていきたいと思います。
文化財課長	<p>(4) その他</p> <p>わかりやすい、コロナ渦における活動の基準をという話があり、部長から説明させていただきました。日本博物館協会が、ガイドラインの改定作業をしております。その改定は、いろいろな施設にアンケート調査をしてその結果を取りまとめたようですが、やはりいろいろな施設があり、難しい判断のようです。ご意見もたくさん寄せられているようで、改定が8月頃になりそうだということですがけれども、ガイドラインができましたら、そちらも参考にして、基準をわかりやすく伝えるようにしたいと思います。それまでに感染レベルが下がってきて、いろいろクリアできる場所があれば、活動にできるだけ参加していただくようにしたいと思いますので、</p>

委員長  
文化財課長

よろしくお願いいたします。

次の会はいつですか

定例でいきますと3月になります。もし途中で何かありましたら、臨時で開かせていただく場合もありますので、またその時にご相談させていただきたいと思います。

委員長

はい。活発なご意見をいただきましてありがとうございます。茅野市の3つの博物館、特に市民との交流に力を入れて活動のご支援をいただきたいと思います。どうもありがとうございました。

～午前11時30分 会議終了～